

令和6年活動結果報告

運営協議会25.8.4

資料 1

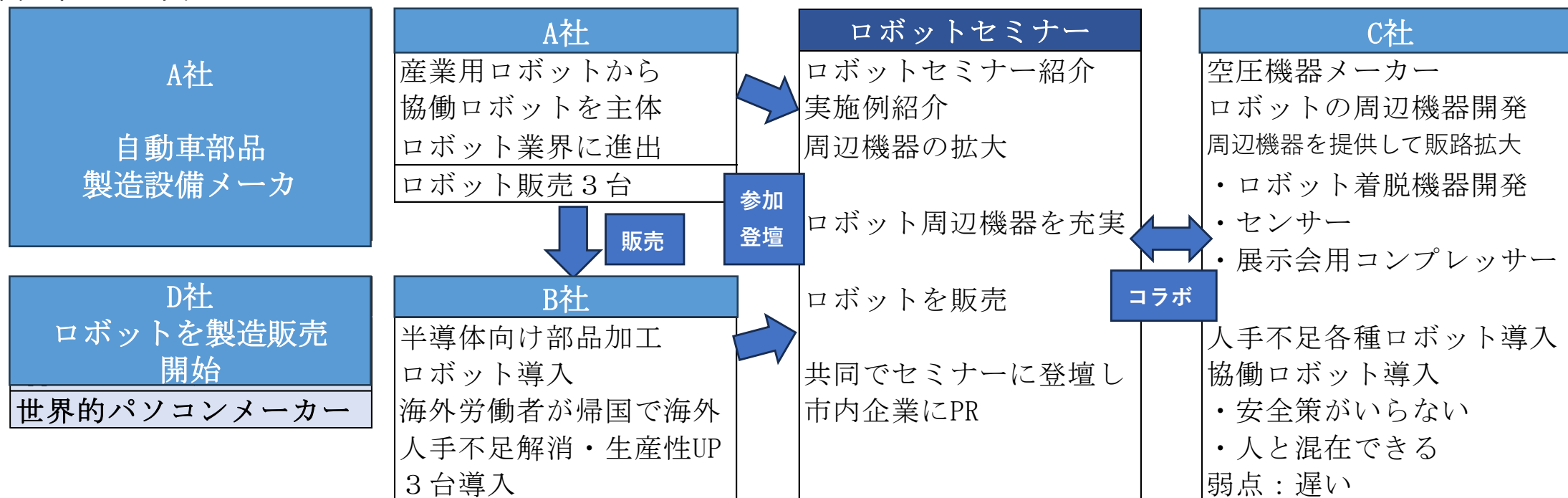
1. 方針KPI結果
2. 次世代成長産業
3. 新事業展開（生成AI、セキュリティ、価格転嫁、STATION Ai）
4. 生産性向上（デジタル化事例3社）
5. 運営、名工大
6. 関係会議体から頂いたご意見
（会議所と関係、セキュリティ、専門家、価格転嫁）

1. 方針KPI結果

R 6 年度方針 実績

KGI	KPI	方策	活動指標	実績	達成率
登録企業の成長度 例 1 平均売上or利益 ×企業数 例 2 新規登録企業数 期待値達成企業数 例 3 評価点数	A 成長産業への参入 R5目標1件実績2件 R6目標 1 件 実績1件(100%)	成長分野の挑戦できる 有望企業 を選定して適切な機関の紹介と支援	A-1 産学連帯の実施件数 2 件 A-2 専門家との相談件数 3 件	(A-1 1件) (A-2 0件)	100% —
	B 新事業展開 R5目標42件実績39件 R6目標38件 実績26件68%	新事業進出の必要性を理解してもらい リスク確認 して挑戦支援する	B-1 セミナー等 4 件 紹介(含継続)拡大 8 件 B-2 JgoodTech等マッチング 新事業進出26件	(B-1 11件) (B-2 15件)	92% × 56%
	C 生産性革命の推進 R5目標8件実績13件 R6目標40件 実績46件115%	やる気のある 成長企業 を選定して徹底した支援体制をとる	成長企業を選定して支援する C-1 目標4件 問題/課題明確化と解決案提示 C-2 目標36件	(C-1 4件) (C-2 42件)	100% 116%
	D 訪問件数 R5目標167件実績224 R6目標200件 実績220件110%	面談の機会を作りコミュニケーションを取り 信頼 を得る	PUSH/PULL両面訪問・相談 D-1 訪問・面談200件 D-2 (新規企業数50社)	(D-1 220件) (D-2 60社)	110% 120%

2-1. 成長産業



ロボット用
グリップ

3-1. 新事業展開

B 開催セミナー・研修会等一覧

2025.3.12作成

NO	セミナー・研修会・事例	目的	日程	参加数
1	小牧市デジタル化補助金 あいち中小企業応援ファンド	2つの補助金・助成金を広く企業に知ってもらい 新事業展開・生産性向上につなげる	6月25日	38名
2	生成AIセミナーと体験会 デジタル化事例紹介	AIの製造活用に特化したセミナーと実際に体験	10月22日	会場31名 Web68名
3	協働ロボット活用事例セミナー	人手不足対応として長期的な目線でロボットを活用	11月22日	30名
4	バックオフィス生産性向上	Kintone内部 小牧市・商工会議所・センター	1月24日	21名
5	越境EC	ハードの高い海外進出を外部ECサイトを活用して スモールスタート	12月11日	18名
6	地場産品	小牧市中小企業地場産品創出支援補助金 あいち中小企業応援ファンド新事業展開助成金	12月12日	10名
7	セキュリティセミナー	中小企業ができるITセキュリティとその体験会	12月19日	20名 3社
8	バックオフィス生産性向上	Kintone	1月24日	20名
9	価格転嫁セミナー	発注先に対して守る事、受注先が守る事	1月28日	21名
10	DXテックミートアップ	ステーションAi + 関連企業 テクノア スカイディスク、ファーストオートメーション・ムーブリンクス	2月14日	18名
11	クラウドファンディング	お気軽なB2Cへ挑戦を説明	3月19日	14名
			合計	309名

セミナー回数11回
10月以降に集中
延べ参加人員309名

セミナー費用は
合計で50千円のみ
登壇者が協力して
いただきました

3-2. 生成AIセミナー 会議所（機械金属工業部会と共催）

評判の生成AIを学ぼう！

**ものづくり現場の生成AI事例紹介と
デジタル化事例紹介セミナー**

多くの企業で生成AIの活用が始まっています。
製造現場ではどのように生成AIが活用されているのでしょうか。
最新の活用方法と活用事例を紹介します！

日 時
2024年10月22日（火）
14:00 ▶ 16:40

場 所
・小牧中部公民館 4階 大会議室
〒485-8552
愛知県小牧市小牧5-253
・オンライン（Zoomウェビナー）

定 員
現地：先着50名 オンライン先着100名
※事前申し込みが必要です（先着順）

申込み
<https://forms.office.com/e/W5nQpVLUxP>
10月21日（月）17時締切

対象者
愛知県内に事業所を有する
中小企業等の経営者・担当者

問合せ・運営事務局
デロイト・マツリスquadバイザリー合同会社
Mail: digital-support-aichi@tohatsu.co.jp
Tel: 052-565-5955
(受付時間 平日 10:00~17:00 ※11:45~12:45は除く)

参加費 **無料**

ChatGPTへのプロンプトの入力手法も紹介します。
よろしければお手元にChatGPTが使えるデバイスをご用意いただき、一緒に打ち込んでみましょう！

- 生成AIの概要解説とAIの製造現場活用事例紹介
- 参加者リアル
30名、Web50名 80名
※募集締切10月21日
- 商工会議所機械金属工業部会、
愛知県次世代産業室と小牧市
共催

出席者	現地	35名	小牧	20名
	Web	107名		48名
	合計	142名	68	(48%)

3-3. 生成AIセミナー 会議所（機械金属工業部会と共催）

小牧商工会議所 機械金属加工部会
株式会社美鈴工業 愛知県経済産業局
鈴木代表挨拶 池田主事挨拶

アンケートN=17

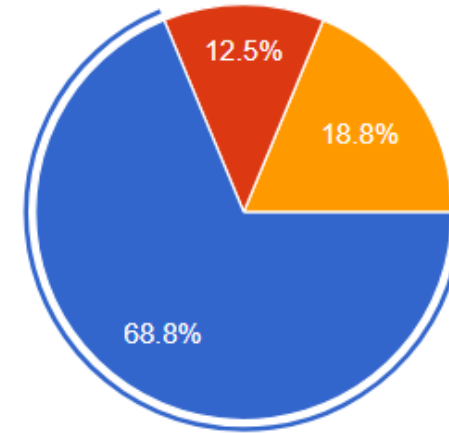
今後AIを活用したいと思いますか？



当センター長挨拶

セミナー様子

- ぜひ活用したい
- 話を聞いてみたい
- わからない



<https://docs.google.com/forms/d/1RgB2VD6stmanEgXapxdtyazoX8ZEDjdPsYjDndoPF4/edit#responses>

3-4. セキュリティ

セキュリティセミナー

講師：株式会社デジパートナーズ
白岡健 社長



大手監査法人のIT責任者として様々なプロジェクトを主導。

総務省・経産省・愛知県や市町村でのセキュリティセミナー登壇実績が多数。



情報セキュリティ対策の
周知を目的に実施。

参加者19名でグループ
ディスカッションを交えた
演習形式のセミナー。

愛知県警サイバー犯罪対策
課から警部補ら二名も参加。

県内のセキュリティ事情も
伝えられる。



愛知県の情報セキュリティ
対策支援(診断)事業の実行
事業者 ※下記Webサイト

IoT Acceleration
Aichi pref Lab

愛知県デジタル技術活用相談窓口

- 愛知県デジタル技術活用相談窓口
- お問い合わせください

セミナー・講演会情報

- 愛知県産業DX推進コンソーシアム
- 産学連携セミナー
- DX Days

導入・利活用・セキュリティ対策支援

- デジタル技術導入モデル実証事業
- デジタル技術導入補助金

2024年度「情報セキュリティ対策支援(診断)事業」に参加する企業を募集します

ページID:5175645 掲載日:2024年8月5日更新 印刷ページ表示

近年、デジタル技術の普及とともに、情報セキュリティの重要性が高まっています。2022年2月には、情報セキュリティ対策が強化された企業に直接サイバー攻撃を行わず、サプライチェーンを構成する企業等を経由して大企業を攻撃する事例が発生しています。一方で、2021年に独立行政法人情報処理推進機構が実施した全国調査によると、情報セキュリティ対策への投資を行っていないと回答した中小企業等が33%に上りました。

こうした状況を踏まえ、愛知県は、中小企業等のセキュリティ対策を支援するため、「情報セキュリティ対策支援(診断)事業」を実施します。本事業では、サイバー攻撃机上演習をはじめ、情報セキュリティの脆弱性診断に加え、セキュリティのポリシー構築の一部の支援も実施します。

セミナーのビジュアル

ごまき新産業振興センター 情報セキュリティ対策支援(診断)事業

身近に迫るサイバー攻撃への対策はできていますか?

皆さんの危機意識が
会社の未来を守ります!

サイバー攻撃
対応机上演習
限定 40名
参加
無料

情報セキュリティ
対策支援
限定 3社

御社のセキュリティ上の弱点を
対策支援いたします!

守るべき情報がないと思っていても、踏み台に
されることで取引先に迷惑がかかるリスクがあ
ります。早めの対策が必要です。

情報セキュリティ対策をこれから始める企業も
既に対策を始めている企業も対象。
まずは自社の状況を把握することから始めましょう。

情報セキュリティ診断のメリット

01 サイバー攻撃対応
机上演習
サイバー攻撃の実態を体験し、
セキュリティの重要性を理解できる!

02 セキュリティ対策
支援
情報セキュリティ診断後には、
セキュリティポリシー構築を一部支援!

セキュリティ支援事業に3社が参加

費用の半額を負担して、セキュリティ対策や同ポリ
シー策定を図る支援事業を実施。
下記3事業者が応募して参加。

3-5. 価格転嫁

下河原講師

価格転嫁セミナー



1. 価格転嫁の必要性
 2. 原価計算
材料費＋労務費＋経費
 3. 交渉の準備
 4. 取り組みの事例
- 皆さん切実な問題として
熱心に聞いていました

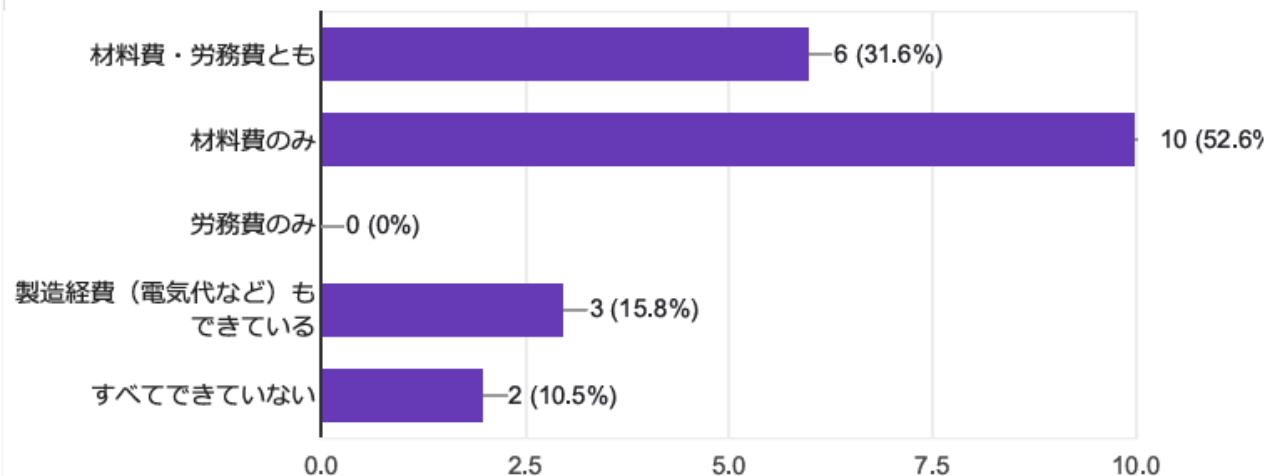
伴走型支援 1 社次年度実施

3-6. 価格転嫁 アンケート

価格交渉状況（アンケート）

価格転嫁できていますか？

19 件の回答



結果から

- ・ 価格転嫁ができていない
10.5%である
- ・ 材料費のみは認められた
52.6%である
- ・ 労務費がまだまだ認められない
ケースが多い
- ・ 労務費は自社で努力するという
従来からの考えと推察

- ・ できている 89.5%
 - 材料費・労務費とも 31.6%
 - 材料費のみ 52.6%
 - 労務費のみ 0%
 - 製造経費もすべて 15.8%（重複あり）
- ・ できていない 10.5%

3-7. STATION Ai

DXテックミートアップ

登壇企業

こまき新産業振興センター

令和6年度 DX化推進支援事業

こまきDXテックミートアップ

新規開拓、新事業進出の
足掛かりに

STATION Aiに入居している
スタートアップ企業がDX化の
最適化に挑戦！

愛知県のスタートアップ
支援拠点支援事業として
開設されたSTATION Ai。

- ① 非日常
- ② 新製品開発、新市場開拓
- ③ 企業間のつながり
- ④ 互いの教育の場



<登壇事業者の紹介—詳細は裏面をご参照ください—>

- ・株式会社スカイディスク：AI搭載の生産計画DXサービス「最適ワークス」の開発・提供
- ・株式会社テクノア 中部営業部：中小企業様向け生産管理システムTECHSシリーズの製造/販売/導入サポート
- ・株式会社ファースト・オートメーション：製造業の課題を解決する生成AIソリューションを提供
- ・株式会社muuv links（電子部品の選定・管理AIシステムの提供）



- ◇開催日時 2025年2月14日(金) 13:30~16:00
- ◇開催会場 小牧中部公民館 1階/こまき新産業振興センターセミナールーム
- ◇定員 25名
- ◇参加費 無料
- ◇申込期限 2月12日(水) 12:00

主催：こまき新産業振興センター 共催：小牧市、小牧商工会議所

4社のピッチ終了後に、コーヒーとお菓子を提供。
名刺交換、個別相談入り混ぜた形で、リラックスした雰囲気
交流が行われました。スタートアップ企業はまた機会を希望

3-8. STATION Ai STATION Ai 利用状況

市議会議員



打合せ様子 (スタートアップ)



打合せ様子 (あいち産業振興機構)



会議所機械金属加工部会



打合せ様子 (スタートアップ)



12月～3月の参加人員153名

4-1. 生産性向上

C デジタル化支援補助金導入事例①

A社

補助対象額 3,046,000円（申請額 1,000,000円）

導入前の課題

製品の糊付け精度が低い

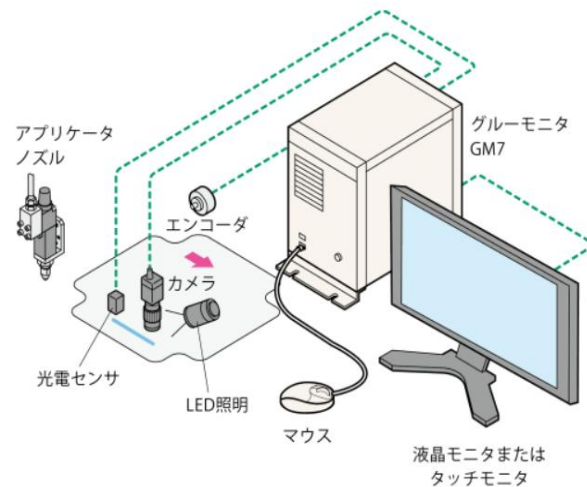
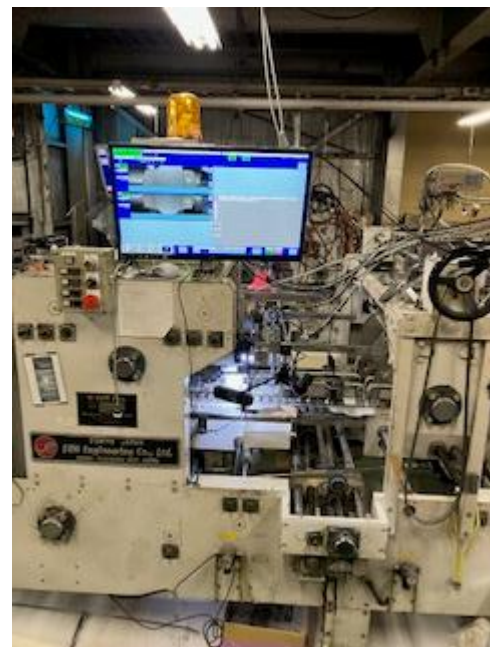
動かしながら糊の量、位置を目視で確認して調整する。調整が難しい。不良品により調整頻度を上げるために、時間が必要。結果不良品が混入し、クレームで発生。スピード減で生産性低下

対策

- ・糊付けの状態をカメラにて画像化して調整が容易にできるようにした。
- ・閾値を決めてそこに入るように調整する
- ・データ化

効果

- ☑現在の製品ロス率0.8%（金額換算で年100万円）を0.1%（金額換算で年10万円以下）に下げることができる。
- ☑ライン速度を現在の1.5倍に引き上げ、1時間あたり7,500～12,000個まで可能生産性向上。
- ☑スタッフによる目視検査が不要。人手不足対策。



4-2. 生産性向上

デジタル化支援補助金導入事例②

[導入]

B社

補助対象額 2,470,000円（申請額 1,000,000円）

<導入前の課題>

測量作業の予定調整、計画策定からの帳票起こし、現地での実地、帰社後の帳票作成などが煩雑で、書類作成に相当な手間がかかる。また、作業も属人化し易い。 **2人作業**

<導入の目的・目標>

- ・ **1人**で測量作業が可能となる測量機器を導入し、取り扱いデータの電子化も行う。
- ・ データ（測量計画、測量結果等）を電子化したい。その結果、生産性を向上させ、働き方改革を実現したい。

<効果例>

☑測量作業および取得データの処理時間短縮が図られ、正確でスピーディな測量作業が可能となる。これらが働き方改革、業務効率化、生産性向上へと繋がった。

☑導入した測量機器を使用したことで、従来2名で行っていた測量を1名で行うことができ、また、**位置情報データを取得した後システムへの入力および連携が高速・平易**に行われるようになった。

導入前（2人作業）



作業は必ず2人1組で行わなければならない、人員確保・スケジュール調整作業だけでも負担が大きい。通常業務時間内で行えることが少なく、休憩時間の返上や、早出、残業が常態化していた。

導入後（1人作業+位置情報等即時データ連携）



1人で作業できるようになり、空いている時間を有効活用することができ、作業効率が飛躍的に上がった。データ連携もスムーズになった。通常時間内に業務を終了できるようになった。

4-3. 生産性向上

デジタル化支援補助金導入の事例③

C社 様

補助対象額1,672,400円
(申請額 836,200円)



電柱を運ぶ



電柱を建てる



電線を張る

今までは ①電柱を運ぶ 電柱を立てる 担当・場所・時間など作業情報を部長が作成

②パソコン入力 事務員

③作業者作業開始 終了 位置・時間を手入力

④帰社後部長がタコメータから確認作業

⑤パソコン事務員手入力

導入 ①YAZAK製デジタルタコグラフ記録計と同システムを導入
②PCにてデータを一括管理
③運行データがクラウド経由で事務所PCに保存日報として記録
④車両の位置情報や事故映像を記録、遠隔地（事務所ほか）で確認可能



期待効果 稼働日20日/月の場合、事業所全体で200時間/月の業務時間削減が見込まれる
年間ベースでの作業時間は12-15%、印刷代では約30%、同チャート紙は100%の削減見込み

5-1. 運営

Kintoneを活用したセンター運営

目次

- ① 面談履歴
- ② 支援シート
- ③ ヤリス使用記録
- ④ エブリィ（軽自動車）使用記録
- ⑤ 発注書作成
- ⑥ 超過勤務申請
- ⑦ 超過勤務消化申請
- ⑧ 旅行命令簿
- ⑨ セミナー運営管理
- ⑩ STATION Ai席予約
- ⑪ STATION Ai入居企業名簿（スタートアップ）

関連資料

支援シート

面談履歴

分類	新規/既存	作成日時	作成者				
支援先	既存	2025-02-17 16:58	 金田 堅				
面談日/活動日	面談者	他同席者所属および氏名					
2025-02-17	金田 五十嵐 長谷川	(市)岩下係長 納口さん					
企業名	先方ご担当者						
様							
用件							
セキュリティ伴走型支援の実施についての事前打ち合わせ 次のステップに進む 成果物 ①現状確認と指摘事項 ②レベル2での及第点（含む教育） ③セキュリティアップの具体的な提案 で一度オーテック内で検討して、要望を提出 3月スタートができるぐらいに進める。 契約書（案）の提出した							
添付ファイル							
DP_業務委託契約書（デジパートナーズ）_こまき新産業振興センター支援事業_三者間契約.pdf (136 KB)							
関連する支援シート							
<table><thead><tr><th>支援No.</th><th>支援開始日</th></tr></thead><tbody><tr><td> 241219-1</td><td>2025-01-30</td></tr></tbody></table>				支援No.	支援開始日	 241219-1	2025-01-30
支援No.	支援開始日						
 241219-1	2025-01-30						

5-2. 名工大

名古屋工業大学が
中小企業の課題解決を
サポートします！

名古屋工業大学「学び合いプロジェクト」

名古屋工業大学が、中小企業の抱える課題の解決をサポートし、本事業に関わるすべての者が協働し、相互に学び合う人材育成を目的としたプロジェクトです。これにより、企業力の向上並びに地域の活性化及び地域経済の振興を目指しています。

「学び合いプロジェクトのイメージ」

企業「学び合い」名古屋工業大学

活かした課題
協働で課題解決

こんなお悩みありませんか？

- ・大学の先生に頼むと専門知識があれば、解決できるのに。
- ・大学の先生に頼むと時間がかかり、知り合いの会社なら、頼むと費用が安そう。
- ・社内の改善、レベルをアップしたいが、自分たちだけでは難しい。
- ・社内の改善やノウハウを通じて、新しいことに取り組みたいがどうしよう。

そんなお悩みも一気に解決！メリットがたくさん！

- ・名古屋工業大学と一緒に課題に取り組めます。知恵やノウハウのきっかけが得られます。
- ・協働して取り組むことで、社員の意識変化、やる気の向上などの期待ができます。
- ・課題解決に向けた取り組みに名古屋工業大学の先生や学生、専任の指導、教員陣に協力できます。
- ・公開サービスの紹介、他機関や他の専門家への連携し等を行います。

【お申込み・お問合せ先】
国立大学法人 名古屋工業大学 学び合いプロジェクト事務局
〒466-8555 名古屋市中区昭和区 19 号館 218 室
電話：052-735-7974 E-Mail: monabiki@adm.nitech.ac.jp

学び合い プロジェクト

小牧枠で
5社参加



6. 関係会議体から頂いたご意見

- ・運営協議会から

- ①会議所との関係明確化➡3者ミーティング充実

- 会議所部会活用（機械金属加工部会）、**次年度横展開で拡大**

- 森岡教授：セミナー招待を受けて参加・説明いたしました

- ②セキュリティ実施➡セミナーの開催の連絡・セミナーの実施と**次年度伴走型支援の実施**

- 矢橋代表：森岡教授のセミナーで説明いたしました

- ③組織継続（5年まで）➡専門家契約

- 渡辺理事長：あいち産業振興機構は専門家委託移行参考にして
当センターのコーディネータ契約、**次年度実施**

- 渡辺理事長にはミートアップセミナーやSTATION Aiに
参加いただきました

- ・監事会から

- ①価格転嫁必要性➡セミナー開催の実施と**次年度伴走支援の実施**

- セミナーには舟橋税理士参加いただきました